

令和3年5月28日
昭和大学

昭和大学における研究活動の不正行為に関する調査結果概要

1. 経緯

令和2年3月6日、上嶋浩順医学部講師が投稿した論文(別紙1:出版前原著論文No.3)について、投稿先の編集者より昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会(医学研究科)(以下、倫理委員会)に対して、同講師が提出した研究データの不正疑義に関する、調査依頼があり、同日受理した。倫理委員会委員長が上嶋浩順講師と面談を行ったところ、同講師は当初不正を否認していたが、後日、当該研究データは捏造したものであると自認した。学長の指示により論文調査委員会が設置され、上嶋浩順講師に事実確認を行ったところ、当該投稿論文以外にも原著論文10編、症例報告5編、Letter to the editor 90編について不正の自己申告があった。そこで、不正の自己申告のあった論文について「昭和大学研究活動における不正防止規程(以下、不正防止規程)」第16条第1項に基づき、令和2年4月1日に予備調査を実施し、自己申告内容等の確認を行った。その結果、本調査を行う必要があると判断され、不正防止規程第18条第2項に基づいて本調査の実施を決定し、第19条第1項に基づき令和2年4月6日に調査委員会を設置した。令和2年7月21日に公益社団法人日本麻酔科学会より、不正の自己申告のあった論文以外の上嶋浩順講師の業績についても調査依頼があり、本調査の対象に追加した。上嶋浩順講師が著者に含まれる「原著論文」12編、「症例報告」9編、「関連領域と話題」1編、「Letter to the editor」120編、「Images in Anesthesiology」1編、「出版前の原著論文」4編の計147編について本調査を行った。

2. 調査

(1) 調査委員会の構成

委員長	中村 明弘	昭和大学理事、薬学部長
委員	小川 良雄	昭和大学理事、医学部教授
委員	水間 正澄	医療法人社団輝生会 理事長
委員	木下 潮音	第一芙蓉法律事務所弁護士
委員	南沢 享	東京慈恵会医科大学医学部教授、学術情報センター長

(2) 対象論文(別紙1)

「原著論文」12編、「症例報告」9編、「関連領域と話題」1編、「Letter to the editor」120編、「Images in Anesthesiology」1編、「出版前の原著論文」4編

(3) 調査対象者

上嶋 浩順	昭和大学医学部麻酔科学講座 講師(当時)
大嶽 浩司	昭和大学医学部麻酔科学講座 教授(当時)
善山 栄俊	昭和大学医学部麻酔科学講座 助教(当時)
原 詠子	昭和大学医学部麻酔科学講座 助教
他 43名	

(4) 調査対象経費

学内予算(基盤的経費(私学助成))
競争的資金

(5) 調査期間

1) 本調査

令和2年4月17日～令和2年11月16日

2) 再調査

令和2年12月4日～令和3年2月26日

(6) 調査方法・手法

1) 本調査

- ① 関係資料の収集及び精査
- ② 論文と生データの照合
- ③ 上嶋浩順への聞き取り調査及び書面調査
- ④ 大嶽浩司への聞き取り調査及び書面調査
- ⑤ 善山栄俊への聞き取り調査及び書面調査
- ⑥ 原詠子への聞き取り調査及び書面調査
- ⑦ その他の共著者への聞き取り調査あるいは書面調査

2) 再調査

- ① 対象症例診療録調査

3. 調査結果

令和2年11月16日に調査が終了し、4名の不正を認定した。不正認定を行った上嶋浩順、大嶽浩司、善山栄俊、原詠子に対して調査結果の通知を行った。大嶽浩司、善山栄俊、原詠子から不服申立はなかったが、上嶋浩順から論文1編の不正認定について不服申立があり再調査を行った。再調査の結果について上嶋浩順から不服申立はなく、確定した調査結果は以下のとおりである。

(1) 認定した不正行為の種別

不正防止規程第2条第1項第1号①

捏造、改ざん

不正防止規程第2条第1項第1号②

不適切なオーサーシップ

(2) 不正行為に係る研究者

上嶋 浩順 昭和大学医学部麻酔科学講座 講師(当時)

認定不正行為: 捏造、改ざん、不適切なオーサーシップ

大嶽 浩司 昭和大学医学部麻酔科学講座 教授(当時)

認定不正行為: 不適切なオーサーシップ

善山 栄俊 昭和大学医学部麻酔科学講座 助教(当時)

認定不正行為: 不適切なオーサーシップ

原 詠子 昭和大学医学部麻酔科学講座 助教

認定不正行為: 不適切なオーサーシップ

(3) 捏造・改ざんがあったと認定した研究に係る論文等の内容について、捏造・改ざんには関与していないが責任を負う者として認定された研究者

大嶽 浩司 昭和大学医学部麻酔科学講座 教授(当時)

(4) 不正行為が行われた研究と関連した学内経費(基盤的経費)の使用

今回の不正行為は職務として実施された研究活動の成果発表において行われたものであり、学内予算(基盤的経費)による研究の成果と見做せるが、直接関連する経費の支出は2件71,396円であった。この2件は、上嶋浩順により不正行為(捏造・改ざん)が行われた研究について、当該不正行為に関与していない共同研究者が学会発表した際の旅費であった。

なお、不正行為が行われた研究において競争的資金の支出はなかった。

(5) 不正行為の具体的な内容並びに、本調査及び再調査を踏まえた結論

(捏造及び改ざん)

① 上嶋浩順が不正を自認した論文について

上嶋浩順は「原著論文」9編、「Letter to the editor」74編、「発表前原著論文」4編において捏造を、「原著論文」1編、「症例報告」1編において改ざんを自認した。「症例報告」4編、「Letter to the editor」16編においては根拠となる生データ等の資料を保管しておらず、提出できないとの申告があった。改ざんを自認した論文以外は根拠となる生データを提出できない又はデータが欠落しており、捏造ではないことを証明できないため、捏造と認定した。改ざんについては論文データと生データに相違があり、科学的な根拠に基づいた説明ができず、且つ本人が自認していることから改ざんと認定した。

② 上嶋浩順が不正を自認した論文以外について

論文に記載された神経ブロックの種類が根拠資料と異なっていた「症例報告」1編、と「Letter to the editor」2編を改ざんと認定した。研究データを部分的に捏造した「症例報告」1編、根拠となる生データ等資料を提出できず捏造ではないことを証明できなかった「関連領域と話題」1編と「Letter to the editor」1編、及び論文記載の患者背景や診療内容が根拠資料と異なっており捏造ではないことを証明できなかった「Letter to the editor」2編は、捏造と認定した。上嶋浩順は聞き取り調査において、研究活動は勤務時間外に一人で行い、自宅でも論文執筆を行っていたと回答した。また各共著者の研究における役割を調査した結果、捏造・改ざんを認定した論文全てにおいて、データ処理・解析は上嶋浩順が単独で行っていたことが確認された。これらのことから共著者の捏造や改ざんへの関与は認められず、捏造・改ざんに係る研究者は上嶋浩順と認定した。

大嶽浩司は聞き取り調査において、研究デザインの検討や研究の進捗確認について講座内で明確な体制を定めておらず、研究者の自主性に任せていたと回答した。講座責任者として指導・監督の立場であり、論文の作成・公表においても指導・確認の責務が課せられている。しかし、大嶽浩司は論文投稿後に出版社から届くメールで共著者となったことを認識していたが、論文の指導・確認業務を怠り、上嶋浩順の不正を未然に防ぐことができず、大学から求められている使命を全うしなかった。このため、大嶽浩司は捏造・改ざんへの関与は認められなかったが、指導的立場の者として管理責任があり、研究論文の作成・発表に関する責任意識の欠如が認められた。以上のことから、大嶽浩司を論文内容に責任を負う者と認定した。

(不適切なオーサーシップ)

責任著者である上嶋浩順が、研究に関与していない者あるいは一部に関与しただけの者を筆頭著者とした行為、及び研究に関与していない者を共著者とした行為、並びに共著者の了承を得ないまま投稿した行為について、日本学術会議が平成27年3月6日発行した「科学研究における健全性の向上について」2頁に記載された「オーサーシップの在り方」及びICMJE統一投稿規程を判断基準とし、上嶋浩順の「不適切なオーサーシップ」として認定した。上嶋浩順は研究に関与していない大嶽浩司を無断で共著者として投稿していた。大嶽浩司は投稿後に出版社からのメ

ールで共著者となったことを認識していた事例が多数あったが、上嶋浩順に対して適切な指導を行わなかったため、大嶽浩司についても「不適切なオーサーシップ」と認定した。

善山栄俊はデータ取得の一部に関与した原著論文 1 編について、上嶋浩順の判断で論文の筆頭著者となり、上嶋浩順からの勧めにより学会発表を行い、当該論文を学位審査に使用した。聞き取り調査で善山栄俊は、データ取得に関与していたため、論文の筆頭著者となり、学位審査にこの論文を使用することは問題ないと当時は安易に考えていたとの回答であった。善山栄俊は上嶋浩順によるギフトオーサーシップにより筆頭著者となり、学会で発表し、当該論文を学位審査に使用したことは「不適切なオーサーシップ」とであると判断した。

原詠子は研究への関与がないにも関わらず、上嶋浩順の判断で原著論文 1 編の筆頭著者となり、当該論文を用いて学位審査を申請することを上嶋浩順から指示された。原詠子は研究への関与のない論文の筆頭著者となり、学位審査に論文を使用することは道理から逸脱しているとの認識はあった。しかし、原詠子は上嶋浩順から麻酔手技(神経ブロック)を学んでいる立場であり、また日常的に上嶋浩順から高圧的な態度で対応されていたため、意見を言うこともできなかった。原詠子が上嶋浩順によるギフトオーサーシップにより筆頭著者となり、当該論文を学位審査に使用したことは「不適切なオーサーシップ」とであると判断した。

(共著者)

上嶋浩順によって捏造・改ざん及び不適切なオーサーシップが認められた論文の他の共著者については、データ取得等研究の一部に関与した者、全く研究に関与していない者がいるが、捏造及び改ざんには関与していなかった。また、各共著者は上嶋浩順から投稿前に論文内容を確認する機会を与えられていなかった。以上のことから、他の共著者については不正行為への関与は認められず、論文内容に責任を負う者でもないと判断した。

(捏造)

①研究を行わず、患者背景を含めた全てのデータを捏造し、執筆した論文

「原著論文」別紙1:No.3、4 計2編

「Letter to the editor」別紙1:No.5、7、8、10～13、15～24、26～28、31～36、38～56、58、59、61～77、79、80、83～89 計73編

②研究を行わず、実在する患者の患者背景(性別・年齢・身長・体重)を使用して捏造したデータを用いた論文

「原著論文」別紙1:No.8、10 計2編

「出版前原著論文」別紙1:No.1～4 計4編

③研究データを部分的に捏造した論文

「原著論文」別紙1:No.2、5～7、9 計5編

「症例報告」別紙1:No.9 計1編

「Letter to the editor」別紙1:No.25 計1編

④研究の根拠となる生データを提出できず、捏造でないことを証明できない論文

「症例報告」別紙1:No.1～4 計4編

「関連領域と話題」別紙1:No.1 計1編

「Letter to the editor」

別紙1:No.1～4、6、9、14、29、30、37、57、60、78、81、82、90、93 計17編

⑤提出された根拠資料の患者背景や診療内容が論文記載内容と異なっており、捏造でないことを証明できない論文

「Letter to the editor」別紙1:No.94、95 計2編

(改ざん)

①生データと違う数値を使用した論文

「原著論文」別紙1:No.1 計1編

②症例報告において合併症や薬剤名が事実とは異なる論文

「症例報告」別紙1:No.5 計1編

③提出された根拠資料と異なる神経ブロック名を記載した論文

「症例報告」別紙1:No.8 計1編

「Letter to the editor」別紙1:No.91、92 計2編

(不適切なオーサーシップ)

「原著論文」別紙1:No1～12 計12編

「症例報告」別紙1:No1～9 計9編

「関連領域と話題」別紙1:No1 計1編

「Letter to the editor」別紙1:No1～53、55～63、65～67、71、76～85、87、88、90～95、
97～114、117、118、120 計105編

「出版前原著論文」別紙1:No1～4 計4編

4. 本学がこれまでに行った措置

(1)関係者の処分

①令和2年5月12日に昭和大学就業規則に基づき以下の処分を行った。

上嶋 浩順 懲戒解雇

大嶽 浩司 降格

②令和2年12月8日に昭和大学就業規則に基づき以下の処分を行った。

原 詠子 譴責

③善山栄俊について

令和2年3月31日に本学を退職しているため、処分は行わず、不正行為に係る研究者として認定したことを現所属機関に通知を行った。

(2) 論文等の取り下げ勧告

令和2年3月24日、論文調査委員会は学長及び理事長に「原著論文」10編、「症例報告」5編、「Letter to the editor」90編の不正の自己申告について報告した。不正が行われた論文が引用されることを防止するため、論文の取り下げ勧告を行うことが決定され、令和2年3月25日に論文調査委員会委員長より上嶋浩順に対して論文取り下げ勧告が行われた。出版社に対して上嶋浩順より取り下げ申請が行われ、調査委員会にて進捗状況を確認した。また、不正の自己申告があった論文以外に不正(捏造及び改ざん)を認定した論文についても上嶋浩順に対して取り下げを行うことを勧告した。不適切なオーサーシップのみを認定した論文については調査結果を出版社に報告し、適切な対応を行うことを勧告した。

なお、当該対象論文については昭和大学研究者情報・業績集から削除し、共著者の現所属機関に対して通知を行う。

(3) 対象論文取り下げに伴い生じる措置

不正行為(捏造・改ざん)の行われた論文のうち2編が、善山栄俊及び原詠子の学位審査に使用されており、令和2年5月28日に開催された医学研究科教授会において学位授与の取り消しが議決された。令和2年8月4日、善山栄俊、原詠子に対して学位授与の取り消しを通知し、学位記を返還させた。

(4) 論文内容訂正等の対応勧告

改ざんや捏造等の不正ではないが、生データ又は根拠資料と論文記載内容に相違があり、「記載誤り」と判断した論文(別紙1:「原著論文」No.11、12、「症例報告」No.6、7、「Letter to the editor」No.96～103、「Images in Anesthesiology」No.1)については、各出版社に報告して適切な対応を行うことを上嶋浩順に勧告した。また、今回不正認定が行われた論文を自己引用している論文についても、各出版社に報告し、適切な対応を行うことを勧告した。

5. 不正行為の発生要因と再発防止策

(1) 発生要因

① 上嶋浩順の研究公正に対する意識の欠如

上嶋浩順は研究遂行から論文発表までの正しいプロセスについて、大学院在籍時に講義を、前任校においては視聴覚教材を用いた講習を受けていた。本学に着任した平成27年4月以降では、研究倫理についてAPRIN e ラーニングプログラムを平成30年10月に受講している。しかし膨大な数の不正行為が行われていることから、上嶋浩順の研究倫理意識の欠如が要因の一つである。

② 研究内容の確認体制の欠如

大嶽浩司は、上嶋浩順の臨床業務姿勢が極めて勤勉で、学外から臨床技術に対して高い評価を受けていたため、信頼に値する講座員と評価していた。研究についても積極的に取り組ん

でいたため、共著者の選出を含めて一任していた。そのため上嶋浩順は、講座責任者で共著者とした大嶽浩司に、論文投稿前に相談や研究内容の確認を行わず、独断で論文投稿を行うようになっていた。大嶽浩司も、上嶋浩順が積極的に臨床研究を行い、多くの論文を執筆し、公表していることを評価していたため、研究内容の定期的な確認を行っていなかった。このように講座内での研究確認体制が機能していなかったことが発生要因の一つである。

③著者としての責任に対する認識及び知識・理解の欠如

各著者は、論文の著者となることの責任に対する認識及び知識・理解が欠如し、適切な判断ができなかった。このことが多くの論文において不正行為が行われた要因の一つである。

④講座内での不適切な指導体制

上嶋浩順は末梢神経ブロックの若手医師への教育・指導を期待されて本学に着任した。麻酔科学講座において他の医師へ末梢神経ブロックの指導を行っていたが、指導態度が高圧的であり、誰も意見を言えない状況であった。また上嶋浩順は、末梢神経ブロックの指導対象者を自ら選出していたため、上嶋浩順に意見を言うことで指導を受けられなくなることを恐れて指示に従わざるを得なかったと共著者は調査に対して回答している。このような不適切な指導体制が発生要因の一つである。

(2)再発防止策

①公正かつ責任ある研究活動及び研究不正防止に関する学長メッセージの発信

研究倫理の向上及び不正行為の防止等に関する「最高管理責任者」である学長より、公正かつ責任ある研究活動及び研究不正防止に関するメッセージを発信する。学長メッセージは本学ホームページでの公開、校内各所の掲示板でのポスター貼付を行い、本学において研究不正は決して許されないことであり、懲戒処分の対象となることを周知徹底する。

②適切な研究データの記録・保存を実行できる管理システムの構築

研究者が個人で研究データを記録・保存することが捏造または改ざんを生みやすい環境になることを踏まえ、大学（または学部・研究科）単位での研究データの一元的記録・保存・管理を行うためのデータ管理室を整備する。これにより研究グループに所属しない者（学内者）がモニタリング・監査を行ってデータが適切に記録・保存されているか、研究実施状況に問題がないかを確認し、問題があれば倫理委員会と学長に報告する体制を構築する。研究データをデータ管理室にて記録・保存することについては、研究申請において各種倫理委員会での承認要件とする。基礎研究や臨床研究など、研究の特性やリスクは様々であることを考慮し、データ管理室の運用ルールは実際に運用可能な形で定める（例：特定臨床研究と侵襲・介入のある臨床研究は、必要な契約等を行ったうえで、研究データ関連業務のすべて（データ管理、統計解析、モニタリング）をデータ管理室に委託する。その他の前向き臨床研究は、主要および副次評価項目に関するデータを登録・管理し、モニタリングにより研究実施状況を逐次

把握する。カルテ調査などの観察研究についてはデータ固定後に研究データを登録する)。また、講座等の各研究組織においてルールが遵守されているかを確認するため、研究活動規範マネジメント委員会と昭和大学統括研究推進センターが主導して監査を実施する。

③論文作成・投稿時における研究不正防止策の策定

学術論文作成に関するオーサiership・ポリシーを制定する。学術論文の作成時には、共著者間で研究データの検証とその評価を必ず行うことをルールとする。共著者それぞれの研究への貢献の内容と責任の範囲については、学術論文中に明記することを求められることが多くなったが、その求めがない学術誌への投稿であっても共著者の貢献と責任について書面で残すものとする。作成された論文を学位論文として申請する場合には、上記の書面を提出する。学位審査時には研究内容の独創性・新規性等の審査とともに申請者の貢献と責任についての審査も徹底する。

④麻酔科学講座責任者に対する指導の実施

上嶋浩順により行われた麻酔科学講座所属医師に対する不適切な指導の再発防止を目的として、令和2年12月23日に学長より麻酔科学講座責任者(教授)及び診療科長補佐に対してハラスメント再発防止のための啓発指導を行った。

⑤研究倫理教育の徹底

文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」及び本学「不正防止規程」の下、研究倫理教育(APRIN e ラーニングプログラム 責任ある研究行為:基盤編(RCR生命医科学系))の受講を、大学院生を含む全教育・研究スタッフを対象として、これまでどおり継続するとともに、昭和大学統括研究推進センターで受講状況を厳格に管理し、受講管理のより一層の徹底を図る。また、本学が独自で実施している倫理講習会への出席証明の有効期間を3年間から2年間へ変更することで基準を引き上げ、研究倫理意識の更なる醸成を図る。講習においては研究不正について重点的に取り扱うこととし、本事例のほか、他の研究教育機関での事例などを学修する体制を整える。

上記に加え、最新の研究倫理に精通し、スタッフに対して適切な研究倫理教育を実施できるようにするため、指導的立場にある研究者を対象に2年に1回の頻度で定期的に研究倫理教育を実施する。内容としては講座内における研究報告会などの確認体制の構築、オーサiershipの考え方、論文投稿前の共著者間の当該論文の確認など研究不正防止にポイントを置く。また、学部学生には研究不正についての研究倫理教育の機会を在学中に3回以上設ける。単に知識・理解の修得のみにならないよう、議論・対話を伴う方法を検討する。

⑥研究不正告発の受付窓口の周知徹底

研究不正が起こりにくい環境を醸成することを目的とし、校内各所の掲示板でポスターを貼付し、研究不正告発の受付窓口が総務部に置かれていることを周知徹底する。

【原著論文】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
1	Saudi J Anaesth. 2018 Jan-Mar;12(1):72-76.	改ざん、不適切なオーサーシップ
2	Anesthesiol Res Pract. 2016;4598583.	捏造、不適切なオーサーシップ
3	British Journal of Anaesthesia. 2017 118(3) 439-43	捏造、不適切なオーサーシップ
4	Open Journal of Anesthesiology, 2017, 7, 351-355	捏造、不適切なオーサーシップ
5	Asian Spine J. 2017 Oct;11(5):722-725.	捏造、不適切なオーサーシップ
6	Asian Spine J. 2019 Apr;13(2):254-257.	捏造、不適切なオーサーシップ
7	Open Journal of Anesthesiology, 2019, 9, 35-41	捏造、不適切なオーサーシップ
8	Reg Anesth Pain Med. 2019 Jun;44(6):632-636.	捏造、不適切なオーサーシップ
9	Open Journal of Anesthesiology, 2019, 9, 51-56	捏造、不適切なオーサーシップ
10	J Clin Anesth. 2019 Dec;58:12-17.	捏造、不適切なオーサーシップ
11	Open Journal of Anesthesiology, 2016, 6, 101-104	不適切なオーサーシップ
12	International Journal of Clinical Medicine, 2017, 8,198-203	不適切なオーサーシップ

【症例報告】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
1	臨床麻酔 2015; 39: 1319-20.	捏造、不適切なオーサーシップ
2	臨床麻酔. 2016; 40: 95-6.	捏造、不適切なオーサーシップ
3	JA Clin Rep. 2016;2(1):34.	捏造、不適切なオーサーシップ
4	麻酔 2018; 67: 614-6.	捏造、不適切なオーサーシップ
5	Medicine (Baltimore). 2018 Oct;97(40):e12746.	改ざん、不適切なオーサーシップ
6	臨床麻酔 2015; 39: 1695-6.	不適切なオーサーシップ
7	Am J Emerg Med. 2018 Nov;36(11): 2130.e1-2130.e2.	不適切なオーサーシップ
8	臨床麻酔 2017;41:1149-1150	改ざん、不適切なオーサーシップ
9	臨床麻酔 2017;41:715-718	捏造、不適切なオーサーシップ

【関連領域と話題】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
1	臨床麻酔 2018; 42: 1137-9.	捏造、不適切なオーサーシップ

【Letter to the editor】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
1	Am J Emerg Med. 2016 Aug;34(8):1695.	捏造、不適切なオーサーシップ
2	J Clin Anesth. 2016 Aug;32:253-4.	捏造、不適切なオーサーシップ
3	Reg Anesth Pain Med. 2016 Sep-Oct;41(5):659-60.	捏造、不適切なオーサーシップ
4	Reg Anesth Pain Med. 2016 May-Jun;41(3):411.	捏造、不適切なオーサーシップ
5	J Clin Anesth. 2016 Sep;33:499.	捏造、不適切なオーサーシップ
6	J Clin Anesth. 2016 Mar;29:83.	捏造、不適切なオーサーシップ
7	J Clin Anesth. 2016 May;30:74-5.	捏造、不適切なオーサーシップ
8	J Clin Anesth. 2016 Jun;31:35.	捏造、不適切なオーサーシップ
9	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:204-5.	捏造、不適切なオーサーシップ
10	J Clin Anesth. 2017 Aug;40:74.	捏造、不適切なオーサーシップ
11	J Clin Anesth. 2018 Feb;44:59.	捏造、不適切なオーサーシップ
12	J Clin Anesth. 2018 Dec;51:60-61.	捏造、不適切なオーサーシップ
13	J Clin Anesth. 2019 Mar;53:2-3.	捏造、不適切なオーサーシップ
14	J Clin Anesth. 2019 May;54:152.	捏造、不適切なオーサーシップ
15	J Clin Anesth. 2019 Sep;56:57.	捏造、不適切なオーサーシップ
16	J Clin Anesth. 2016 Sep;33:147-8.	捏造、不適切なオーサーシップ

【Letter to the editor】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
17	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:176-7.	捏造、不適切なオーサーシップ
18	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:178.	捏造、不適切なオーサーシップ
19	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:206.	捏造、不適切なオーサーシップ
20	J Clin Anesth. 2016 Sep;33:413.	捏造、不適切なオーサーシップ
21	J Clin Anesth. 2016 Sep;33:190-1.	捏造、不適切なオーサーシップ
22	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:348-9.	捏造、不適切なオーサーシップ
23	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:516.	捏造、不適切なオーサーシップ
24	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:555-6.	捏造、不適切なオーサーシップ
25	J Clin Anesth. 2016 Jun;31:263-4.	捏造、不適切なオーサーシップ
26	J Clin Anesth. 2016 Dec;35:274.	捏造、不適切なオーサーシップ
27	J Clin Anesth. 2017 Feb;37:174.	捏造、不適切なオーサーシップ
28	J Clin Anesth. 2017 Feb;37:131.	捏造、不適切なオーサーシップ
29	J Clin Anesth. 2017 Feb;37:175.	捏造、不適切なオーサーシップ
30	J Clin Anesth. 2017 Feb;37:114.	捏造、不適切なオーサーシップ
31	J Clin Anesth. 2017 Feb;37:145.	捏造、不適切なオーサーシップ
32	J Clin Anesth. 2017 May;38:2.	捏造、不適切なオーサーシップ
33	J Clin Anesth. 2017 May;38:5.	捏造、不適切なオーサーシップ
34	J Clin Anesth. 2017 May;38:1.	捏造、不適切なオーサーシップ
35	J Clin Anesth. 2017 May;38:71.	捏造、不適切なオーサーシップ
36	J Clin Anesth. 2017 Jun;39:145.	捏造、不適切なオーサーシップ
37	J Clin Anesth. 2018 Feb;44:47.	捏造、不適切なオーサーシップ
38	J Clin Anesth. 2018 Feb;44:120.	捏造、不適切なオーサーシップ
39	J Clin Anesth. 2018 Feb;44:116.	捏造、不適切なオーサーシップ
40	J Clin Anesth. 2017 Aug;40:23.	捏造、不適切なオーサーシップ
41	J Clin Anesth. 2017 Sep;41:74-75.	捏造、不適切なオーサーシップ
42	J Clin Anesth. 2017 Nov;42:12.	捏造、不適切なオーサーシップ
43	J Clin Anesth. 2017 Nov;42:16.	捏造、不適切なオーサーシップ
44	J Clin Anesth. 2017 Dec;43:4-5.	捏造、不適切なオーサーシップ
45	J Clin Anesth. 2017 Dec;43:65.	捏造、不適切なオーサーシップ
46	J Clin Anesth. 2017 Sep;41:60.	捏造、不適切なオーサーシップ
47	J Clin Anesth. 2017 Nov;42:46.	捏造、不適切なオーサーシップ
48	J Clin Anesth. 2018 Feb;44:41.	捏造、不適切なオーサーシップ
49	J Clin Anesth. 2018 Feb;44:22.	捏造、不適切なオーサーシップ
50	J Clin Anesth. 2018 Feb;44:104.	捏造、不適切なオーサーシップ
51	J Clin Anesth. 2018 May;46:44.	捏造、不適切なオーサーシップ
52	J Clin Anesth. 2018 May;46:84.	捏造、不適切なオーサーシップ
53	J Clin Anesth. 2018 Sep;49:77-78.	捏造、不適切なオーサーシップ
54	J Clin Anesth. 2018 Sep;49:73.	捏造
55	J Clin Anesth. 2018 Nov;50:43.	捏造、不適切なオーサーシップ
56	J Clin Anesth. 2018 Nov;50:69.	捏造、不適切なオーサーシップ
57	J Clin Anesth. 2018 Dec;51:37.	捏造、不適切なオーサーシップ
58	J Clin Anesth. 2018 Dec;51:97.	捏造、不適切なオーサーシップ
59	J Clin Anesth. 2018 Aug;48:21.	捏造、不適切なオーサーシップ
60	J Clin Anesth. 2019 Mar;53:1.	捏造、不適切なオーサーシップ
61	J Clin Anesth. 2019 May;54:1.	捏造、不適切なオーサーシップ
62	J Clin Anesth. 2019 May;54:2.	捏造、不適切なオーサーシップ
63	J Clin Anesth. 2019 May;54:45.	捏造、不適切なオーサーシップ

【Letter to the editor】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
64	J Clin Anesth. 2019 May;54:146.	捏造
65	J Clin Anesth. 2019 May;54:156.	捏造、不適切なオーサーシップ
66	J Clin Anesth. 2019 May;54:153.	捏造、不適切なオーサーシップ
67	J Clin Anesth. 2019 Aug;55:113-114.	捏造、不適切なオーサーシップ
68	J Clin Anesth. 2019 Aug;55:3.	捏造
69	J Clin Anesth. 2019 Aug;55:110.	捏造
70	J Clin Anesth. 2019 Sep;56:47.	捏造
71	J Clin Anesth. 2019 Sep;56:37-38.	捏造、不適切なオーサーシップ
72	J Clin Anesth. 2019 Sep;56:131.	捏造
73	J Clin Anesth. 2019 Sep;56:128.	捏造
74	J Clin Anesth. 2019 Nov;57:40.	捏造
75	J Clin Anesth. 2019 Nov;57:37.	捏造
76	J Clin Anesth. 2019 Dec;58:5-6.	捏造、不適切なオーサーシップ
77	J Clin Anesth. 2019 Dec;58:37.	捏造、不適切なオーサーシップ
78	J Clin Anesth. 2019 Dec;58:77-78.	捏造、不適切なオーサーシップ
79	J Clin Anesth. 2020 Feb;59:2.	捏造、不適切なオーサーシップ
80	J Clin Anesth. 2020 Feb;59:7.	捏造、不適切なオーサーシップ
81	J Clin Anesth. 2020 Feb;59:8-9.	捏造、不適切なオーサーシップ
82	J Clin Anesth. 2020 May;61:109684.	捏造、不適切なオーサーシップ
83	J Clin Anesth. 2019 Feb;52:83.	捏造、不適切なオーサーシップ
84	J Clin Anesth. 2018 Mar;45:23.	捏造、不適切なオーサーシップ
85	J Clin Anesth. 2018 Aug;48:11.	捏造、不適切なオーサーシップ
86	J Clin Anesth. 2018 Aug;48:12.	捏造
87	J Clin Anesth. 2017 Jun;39:128.	捏造、不適切なオーサーシップ
88	J Clin Anesth. 2016 Jun;31:200.	捏造、不適切なオーサーシップ
89	J Clin Anesth. 2018 Dec;51:48.	捏造
90	JA Clin Rep. 2018 Feb 24;4(1):21.	捏造、不適切なオーサーシップ
91	J Clin Anesth. 2018 Aug;48:4-6.	改ざん、不適切なオーサーシップ
92	J Clin Anesth. 2016 Aug;32:194-5.	改ざん、不適切なオーサーシップ
93	J Clin Anesth. 2017 May;38:137.	捏造、不適切なオーサーシップ
94	J Clin Anesth. 2017 Sep;41:61.	捏造、不適切なオーサーシップ
95	J Clin Anesth. 2019 Aug;55:4.	捏造、不適切なオーサーシップ
96	J Clin Anesth. 2019 May;54:149.	なし
97	J Clin Anesth. 2016 Aug;32:82-3.	不適切なオーサーシップ
98	J Clin Anesth. 2016 Aug;32:265-6.	不適切なオーサーシップ
99	J Clin Anesth. 2019 Aug;55:69-71.	不適切なオーサーシップ
100	J Clin Anesth. 2016 May;30:76-7.	不適切なオーサーシップ
101	J Anesth. 2016 Dec;30(6):1095.	不適切なオーサーシップ
102	J Clin Anesth. 2016 Jun;31:191-2.	不適切なオーサーシップ
103	J Clin Anesth. 2018 Sep;49:74.	不適切なオーサーシップ
104	J Clin Anesth. 2018 Mar;45:27-28.	不適切なオーサーシップ
105	J Clin Anesth. 2020 Mar;60:19-20.	不適切なオーサーシップ
106	J Clin Anesth. 2020 May;61:109648.	不適切なオーサーシップ
107	J Clin Anesth. 2016 Mar;29:14.	不適切なオーサーシップ
108	Reg Anesth Pain Med. 2017Jan/Feb;42(1):123-124.	不適切なオーサーシップ
109	J Anesth. 2017 Jun;31(3):476.	不適切なオーサーシップ
110	J Clin Anesth. 2016 Nov;34:259-60.	不適切なオーサーシップ

【Letter to the editor】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
111	J Clin Anesth. 2016 Dec;35:228-229.	不適切なオーサーシップ
112	J Clin Anesth. 2017 Feb;37:115.	不適切なオーサーシップ
113	J Clin Anesth. 2017 May;38:82.	不適切なオーサーシップ
114	J Clin Anesth. 2017 Aug;40:54.	不適切なオーサーシップ
115	J Clin Anesth. 2020 Mar;60:94-96.	なし
116	J Clin Anesth. 2020 May;61:109629.	なし
117	J Clin Anesth. 2015 Dec;27(8):696.	不適切なオーサーシップ
118	J Clin Anesth. 2017 Aug;40:126.	不適切なオーサーシップ
119	J Clin Anesth. 2020 Mar;60:2-3.	なし
120	J Clin Anesth. 2020 Jun;62:109727.	不適切なオーサーシップ

【Images in Anesthesiology】

No	雑誌名及び発行時期	不正認定
1	Asian J Anesthesiol. 2018 Dec;56(4):153.	なし

【出版前原著論文】

No	投稿先	不正認定
1	J Clin Anesth	捏造、不適切なオーサーシップ
2	Anaesthesia	捏造、不適切なオーサーシップ
3	Anaesthesia and Intensive Care	捏造、不適切なオーサーシップ
4	Biomed Research International	捏造、不適切なオーサーシップ